

## 企業のシンプル化と効率化

令和6年4月29日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

アメリカ企業などの機能性の追求は、IT という現実において飛躍的な向上を与えたのである。

これらは企業のシンプル化であり、企業の機能性と効率性の追求において、IT システムにおける新しい企業環境は飛躍的な企業の向上を与えるのである。

これら企業のシステム化は、高い生産性と効率性におけるより高い企業の利益率への転換を実現できるのである。

これらは、IT システムという現実が、固定企業運営システムとともに、遥かに優れる生産性や効率性の達成を実現できるためである。

これら企業環境の次世代基準は、世界の先端企業における既存の現実なのである。

これらは無理無駄という現実から、企業のシンプル化における高い効率基準における企業経営への転換が、新しいグローバルスタンダードであることは理解しなくてはならない。

これらはデジタル革命が、企業において現実を与え、手工業から、デジタル文化への転換は世界の趨勢なのである。

これら第2の産業革命は、完全に異なる企業環境と文化を与えるものであり、全ての企業はこれを否定することは不可能である。

これらはインダストリー4.0への転換における自動化する生産システムとともに、新しい企業の現実がすでに存在するのである。

これらは必ず新しい企業における必要性であり要求なのである。これらが遥かに優れた生産性と効率性、品質基準を与えることから、これらは真剣に企業において討議されなくてはならない。これらが先端MBAシステムとともに企業経営の確立を有することは、未来における企業の新しいスタンダードへの参加なのである。

黒田インターナショナル

